

14年度研究

テーマ妥当

県工技評価委

徳島県立工業技術センターの試験研究評価委員会が5日開かれ、2014年度に取り組む2テーマについて外部有識者が審議した結果、すべて妥当と認められた。

評価の対象となったのは▽県産材を活用した乾式遮音二重床の開発▽食品資源の調圧加工に関する研究―の2テーマ。担当者が研究計画を発表した。

織田聡・徳島大学産学官連携推進部副部長ら県内の大学や企業関係者10委員が出席。研究の計画性、新規性や実用性の見込み、県産業への波及効果などの点から5段階で評価した結果、いずれも3・9〜4・2と標準点の3を上回った。